

令和8年2月4日（水）【秩父市長 職員向けメッセージ】

皆さん、おはようございます。

昨日は節分、そして本日は立春です。

暦の上では、今日から春が始まります。

私たちは一年の暦の中で、季節の移ろいを感じながら、節分や正月、祭りや年中行事など、さまざまな行事や風習を通じて、祝い、祈り、日々の暮らしを営んできました。こうした営みは、単なる行事ではなく、自然とともに生き、人と人が支え合いながら暮らしてきた、日本の精神文化そのものだと思います。

秩父市は、まさにその日本の素晴らしい精神が、今も生活の中に息づいている土地です。

祭りや地域行事はもちろん、日常の中での声かけや助け合い、そうした当たり前の行動の中に、連綿と育まれてきた秩父らしさを感じることができます。

私は、この秩父市の精神性を、「わかちあい」という言葉で捉えています。

自分たちが持っているものを出し合い、知恵や力、時間や思いをわかちあいながら、共に生きていく。その精神が、このまちには確かに根付いています。

これからまちづくりを考えるときにこの精神をしっかりと意識することが、とても大切だと考えています。

一方で、時代は大きく変化しています。だからこそ、精神は大切にしながらも、デジタル技術や新しい仕組みなど、時代に合った有効な手段を、積極的に取り入れていきたいと思います。

秩父らしさと新しさ、その両方を大切にしながら、より良い市民サービス、より良いまちをつくっていくために、ぜひ皆さん一人ひとりの力添えをお願いいたします。

共に、秩父の未来を築いていきましょう。

まだまだ寒さが厳しい時期が続きますが、体調にはご留意されて、自分の役割に勤しんでください。

今月もどうぞよろしくお願ひいたします。